

Kagoshima Nursing Federation

れんめい



Vol.

77

JANUARY
2024

- 鹿児島県看護連盟広報機関紙れんめい -

どう生きるか どう死ぬか



終活ライフケアプランナーとして
羽根田十郎

☑ 新年の挨拶

あべ俊子 衆議院議員

たかがい恵美子 衆議院議員

石田まさひろ 参議院議員

友納りお 参議院議員

☑ 研修報告

合同ブロック協議会

看護記録

プレゼンテーション

<https://k-kango.net/>



日本看護連盟 会長

高原 静子

SHIZUKO TAKAHARA

新年のご挨拶を申し上げます。

辰年の幕開けと同時に、能登半島を襲った大規模災害。ここに亡くなられた方々のご冥福を祈り、被災された全ての方々に心からのお見舞いを申し上げます。また、災害地域で支援活動に尽力されている会員、看護職の皆さまに敬意と感謝を表します。

2024年は医療・介護・障害福祉分野のトリプル改定の年です。処遇改善、ICT、ロボットの導入による職場環境の改善、人材の養成・確保・定着対策、医師の時間外労働時間の上限規制によるタスクシフト/シェア、第8次地域医療計画のスタート等々、目が離せません。

看護連盟は2024年も変わることなく、「現場の問題」を看護政策としてその実現に向け活動し、「看護連盟があつてよかった」と存在意義が実感できる組織作り、活動を目指してまいります。

さて、時期不明ですが2024年は衆議院選挙の年になるでしょう。そして、組織内候補者予定者「石田まさひろ参議院議員」の後援会も発足いたしました。現在の4人の看護職国会議員が一人も欠けることなく活動していただけるよう皆で協力しましょう。

存在意義が
実感できる
組織作り



鹿児島県看護協会 会長

八田 冷子

REIKO YATSUDA

新年明けましておめでとうございます。

年明け早々能登半島地震が発生し多くの尊い命が奪われ、今もなお安否不明の方や避難所生活を余儀なくされている方々に加え、現地の看護職のご苦労はいかばかりかと心配されている方も多いのではないのでしょうか。本協会としましては、まずは日看協からの災害支援ナースの派遣要請等に迅速に対応できるよう準備を進めているところです。

一方、30年ぶりに改訂された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」に基づき、看護職の「養成」「処遇の改善」「資質の向上」「就業の促進」等を推進するためには、協会と連盟の協働が更に必要だと考えております。本年1月13日に開催された協会地区長と連盟支部長との初の意見交換会では、それぞれの役割を確認するとともに、会員確保についての現状や課題を共有する貴重な場となりました。

今後とも貴連盟との連携強化を図るとともに、魅力ある協会活動・事業の見える化に努めますので、引き続き、連盟会員の皆様のご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

それぞれの役割を確認

新年の挨拶

2024

新春を迎え 新年のご挨拶を 申し上げます

鹿児島県看護連盟 会長

吉崎 和子

KAZUKO YOSHIKAZI

まず、1月1日に発生した能登半島地震で被害にあわれた方々に深くお見舞い申し上げます。この極寒の時期に、ライフラインが壊され、避難生活を余儀なくされている状況を想像しますと、こころが痛くなります。一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、2024年は辰年。すべての事が昇り龍のごとく、上に高く、飛躍することを願います。昨年は、看護職の議員さんのご尽力のお蔭様で、看護職にとって看護職の処遇改善の火蓋が切って落とされました。これから、すべての看護職に実現されますように、期待しましょう。看護補助者の採用に、ご苦労されている看護管理者の方々に光が差しました。

2024年は、医療・介護・障害福祉分野のトリプル改定の年です。処遇改善は勿論DX、ICT、医師の働き方改革、人材確保・育成など多くの壁が待っています。中央の動きに関心を寄せ、乗り遅れないように、現場の看護管理者の皆さんにはご活躍を期待しております。

鹿児島県看護連盟は、今年も、看護協会と連携を密に撮り、看護協会の政策実現のために精進してまいります。また、「現場の声」に耳を傾け、看護連盟の存在感を感じていただけるよう組織強化に努めます。看護の現場が、元気でないといふ県民の命は護られません。

現場で孤軍奮闘して頑張っている看護職の皆様が、希望がもてる社会を目指します。

2024年が、皆様にとって実りある一年になりますよう祈念しております。

今年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



参議院議員

石田まさひろ

MASAHIRO ISHIDA

円滑な国会運営に向けて走り回る

鹿児島県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

「看護婦等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」が31年振りに改定されました。これは、日本看護連盟・日本看護協会から指針改定の要望が看護問題小委員会に提出され、政府へ改定を要請した賜物です。看護師の確保推進という指針の目的を果たすため、時代に即した指針への改定が実現しました。

国会においては、予算委員会理事（次席）、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命いたしました。特に、予算委員会は社会の注目を集める難しい委員会ですが、役目をしっかりと果たしていけるよう尽力いたします。また、国会対策委員会副委員長として円滑な国会運営に向けて走り回ると共に、厚生労働政策を押し進めていきます。

本年も引き続き、現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動して参ります。



参議院議員

友納りお

RIO TOMONOH

自身の役割を再確認。

謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、この度の地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

皆さまに国政の場へ送り出していただいてから約1年半が経過しました。昨年の国会では、参議院の委員会、看護職の処遇改善、来るべき有事に備える内閣感染症危機管理統括庁への看護職の積極的な登用、訪問看護への支援等を訴えました。通常国会においては、看多機の定義を明確にする介護保険法等の改正もなされ、看護師出身の弁護士として看護職に関する法律を整備する自身の役割を再確認したところです。

看護職の処遇改善については、昨年の当選後、寝たきりだった医療職俸給表の改定がなされ、選挙で訴えていたことが1つ実現しました。本年の診療報酬等のトリプル改定に向けての議論も加速していきます。この改定が皆さまの給与アップに繋がるようにしっかりと取り組んでまいります。

看護の現場の声を国政に！本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



ともうりお official site
https://tomonoh.net/

ぜひ
Check

次世代に送り継ぐ日本のための在り方



衆議院議員

あべ俊子

TOSHIKO ABE

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

また、年初めの能登半島地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。少子高齢化で地方は厳しい状況です。次世代に送り継ぐ日本のための医療・介護の在り方、人材育成など多くの課題に取り組んでいく必要があります。地域事情は其々で、まさに人こそが街をつくり、人こそが雇用を支えています。世界情勢の変動、コロナ禍で拡大したDXなど多くの事柄が急速に変化しています。このような変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進につなぐ方法を常に考えています。

昨年12月には皆様のご支援のもと文部科学副大臣を拝命いたしました。子どもたちの心身を健やかに伸ばすことができる教育文部科学行政に全力で取り組んでまいります。時代は大きく動いていますが、いつの時も政策立案の基本となるのは現場の声です。人や社会を支える看護が、時勢に基づき、変革することを貴連盟の皆様と一緒に支えてまいりたいと存じます。



衆議院議員

たかがい恵美子

EMIKO TAKAGAI

新年明けましておめでとうございます。穏やかな初春に鹿児島県看護連盟の皆様のご健勝を慶賀申し上げます。国内外の情勢変化激しい折、一貫して国民福祉の向上にご尽力賜り誠にありがとうございます。

尊厳を重視した包摂性の高い成熟社会を形成していく上では、看護政策をはじめ社会保障制度のさらなる充実強化が不可欠です。各々が幸せを実感できる人生100年時代となるよう、皆様とともに専門職の知見を活かして、変化に対応する公共政策を着実に実現してまいります。

先の臨時国会において、衆議院東日本大震災復興特別委員会の委員長に選任され、党政調では前年に続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長を務める他、女性の生涯の健康に関するPTで座長を預らせていただいております。いずれも時機を失することなく解決策を講じるべく、現場優先に広く意見を聴取して、粘り強く議論を展開しております。

各地でご活躍の皆様の笑顔が守られ、ご家族共につつがなく過ごされますことを願い、新年のご挨拶いたします。

現場優先の意見を聴取

どう生きるか
どう死ぬか



羽根田 十郎

1970年生まれ。鹿児島市の病院（精神科・心療内科）で看護師、ケアマネジャーとして勤務。50歳を機に早期退職。現在は、終活サポートを含めた生活支援サービス（全額自己負担）ライフロードを起業。人は心の持ち方で幸にも不幸にもなる。その心のバランスを上手にとるためのメッセージを発信し続けることを目指している。

現代生活の複雑さと
自分軸での生き方

「この世で生活するってほんと大変ですよね。昔、人類がまだ狩りをしてた時代、考える事がごくシンプルで「生きる、産む、育てる」くらいだったか。今は、お金がたくさんほしい、他者からよく見られたいあれこれもなど多種多様な欲求が多く多種多様なストレスが増えてきた。自分がやりたい事ならまだしも他人の目を意識して歩む人生は、他人の人生になっちゃうし他人軸の生き方で一生終えるのであれば、あの世の方が楽かもね」とつい思いたくなる。

人生の価値と
看護助手としての経験

「だけど、自分で自分の人生を終わらせたら絶対ダメよね。ゲームして、うまく行かないからリセットして始めからするなんて絶対やっちゃいけない（私、ゲームほとんどしたことないけど、苦笑）。その中で、自己満足でよいから工夫しながら生きなきゃね。」

高校卒業して看護助手で働き始め、夜勤で初めて患者さんが亡くなった時、先輩に「患者さんのご家族がくるまで、

付き添って」と言われ個室に私一人ご遺体の横に座りその姿をじーっと見ながら思った。今まで動いていたものがとまった瞬間、この世からあの世に変わる。この境界線って何なんだ？ その線を超えたらどこいく？ どういうこと？ と思った事を今でも覚えている。

人生と死と
やりたいことリスト

亡くなった後の話は、諸説ある。私は、肉体に終わりはあるけど、魂は永遠。この世が仮の世界で、あの世が本来いる世界って思う。だから足腰が立つうちにやりたいリスト書いてたくさん行動した方がよいよね。ちなみに私のやりたいリストの中には「社長になる」「親を在宅介護サービスを利用してながらできるかぎり自宅で見守る」「絵本作家になる」というのがある。それらが以下の通り。

50歳（2020年3月）、2人の子供たちが社会人になったことや要介護状態の両親の介護量が増えてきた（姉がキーパーソン）ことを機に早期退職。姉と一緒に両親の介護をする生活が始

まりました。そして同年、私の退職月の3月に母、8月に父が永眠。退職してから介護をする期間はそんなに長くはなかったけど、ゆっくりとしたあつたかい時間を過ごせました。

要介護状態になってから約10年。その間、医療機関や介護サービス事業所等の専門職の方たちとの話し合いの場が数多くありました。幸い私たち姉弟が近くに住んでいたで話し合いの場には、その都度、立ち会う事が出来、両親の意向に沿った生き方ができたと思います。しかし、なかには、そういう環境ではない高齢者の方もいるのではないかと。その方たちの支援ができれば良いなと思いついて2021年ライフロード（終活相談、通院介助、その他の生活支援等

絵本作家への道

（全額自己負担）を起業しました。今はまだ、他の仕事を複数かけもちしながらやっていますが、自分らしく生きられています。

「絵本作家になる」については、母が元気だったころに聞いた不思議な実話をもとに書いた1作目の絵本「つむじ風になったリユウ」を2017年に（株）文芸社より出版。自費出版だったので、

とてもとても迷いましたが、母の認知機能が低下した頃に少しでも楽しい時間を作れるかなと考え思い切って出版しました。いつの日か実写化になることを密かに願っています笑。2作目「先祖様は宇宙人」は予算の都合（自費出版もうしません笑）により待機中。SNSで配信しようか検討中。3作目「国境のないオリンピック」構成中。私のやりたいリストの一部はこんな感じですよ。

最後に、医療や介護に携わってきた人は、死は身近にありますが、死に、ほど遠い生活をされている人は、死は特別なものです。「生と死」これがあって人生。先ずそこに向き合うこと。病因のひとつ、特にメンタル疾患は、他人軸での生活習慣が過度に続き自分らしさが失われた時だと思えます。良い意味で、わがままに生きる事をおすすめしたい。先人たちの生きざまを身近で見させて頂いた経験や知識を経験したこと少ない人たちに伝えることで考え方の選択肢のひとつとしていただければ幸いです。

私もまだ未熟で欲深いので、やりたい事がたくさんあります。体が自由に動けるうちに、やりたいことやります。最後まで読んで頂きありがとうございます。



REPORTS 01

九州ブロック協議会
会長 / 副会長 / 幹事長 /
支部長 / 青年部合同研修会

2023/9/23 土



今回、4年ぶりに令和5年度九州ブロック会議と合同研修会が、沖縄を含めた九州各地より95名参加があり鹿児島県で開催されました。

まず、日本看護連盟青年部幹事の岡山眺憲氏より「次世代を惹きつける看護の未来」というテーマで講演がありました。現在の日本は、人口減少（少子高齢化）がもたらす影響として、働き手の減少が深刻化で、医療・看護の分野では医療のDX化（音声認識デバイス）の取り組みが紹介されました。音声入力すると現状の約48%の時間で可能で、その他、外来受診のスマート化など、システムを使って医療の質を上げていくことを提唱されました。昨今、若手の政治離れを懸念され、まずは次世代を理解すること。Z世代の特徴として、合理性をキーワードに挙げられ、情報への感度が高く、堅実的な経済感覚があり合理的な消費活動を重視する傾向にあると示唆されました。看護連盟として、1. 看護が能力を発揮できる環境づくりが重要である。2. 次世代の特徴を理解し合理性をもって説明し仲間を増やす。3. 「看護の未来をつくる」ことを伝え広めていくそのための人材育成していく。これらのことを推奨されました。

グループワークでは、役職ごとにグループを形成し、会員増に向けた取り組みについて「現在の課題を明らかにし次世代を惹きつける方策を見出す」というテーマで、ディスカッションを行いました。課題では、「施設の管理者が連盟に対して理解が不足している」「会費の問題（高い）」「連盟の必要性を十分説明できていない」「支部長の熱量の問題」「中堅N sのマイナスイメージ」などの様々な意見が挙がりました。

方策として「協会との共存を考える」「研修のポイント制」「直接、議員の話を聴く機会をつくる」などそれぞれの立場から方策が出されました。また、グループ発表で、分かりやすく看護党を作れば、会員増や政策実現の近道だと問われ、可能なら自分自身が国政に出てもいいという意見もあり、盛大な拍手で盛り上がりました。

（このようにどの地域でも、同じような問題や悩みなど抱えており、その対策にも苦慮していますが、今回の講演やグループワークでいろいろな意見や考えを聞き、皆さん前向きに捉え、今後の活動への活力となった研修会だったと思います。

野添 伊知雄（出水支部支部長） = 文・報告

REPORTS 02

看護記録研修

2023/9/23 土



今年の看護記録研修のテーマは「患者中心のチーム医療を実現するための看護記録」〜時短・共有・連続性を目指して〜で、講師には鹿児島大学病院医療情報部の教授兼部長で特命副院長の宇都由美子先生をお迎えしました。コロナ禍の影響にもかかわらず、91名の参加者が集まりました。

研修では、適時調査、個別指導、立入検査（医療監視）の違いとそれぞれの目的、看護部門の準備事項、提出書類の種類と記録上の注意点について、経験に基づき説明を受けました。

リスクマネジメントの観点から、看護記録の法的証拠能力を正確に把握するためのアプローチについても学習しました。具体的には、①過誤問題となった事実が予見できたか、②予見に基づき回避できたか、③因果関係があるかを事例を挙げて検討しました。

看護記録の書き方に関しては、憶測や予想、個人見解などを避け、事実のみを記入すること、職業用語や独自の記号の使用を控え、医療者以外でも理解できる内容にするべきだとのコメントもありました。

最後に、看護記録の目指すべき方向性、標準化、意義のある記録、スリム化について、看護記録の法的位置付けや役割、具体的な記入方法についても深く考察しました。

参加者からは、「適時調査等の重要性を再認識し、診療報酬や訴訟に関わる記録の時間記載にも注意する必要性を感じた」「看護記録ガイドラインの見直しに役立てたい」といった感想が寄せられました。

今回の研修を通じて、看護記録を客観的かつ正確に記載することの重要性を再認識し、学んだことを今後、施設でも活かしていく所存です。

山内 雅人（鹿児島市白石病院） = 文・報告

REPORTS 03

プレゼンテーション
研修 2023/9/9 土



プレゼンテーション (presentation) は、表現、提示、紹介という意味です。元々はビジネス用語として、米国の広告業界で使われていました。そのため、実体のない広告という商材を売り込むために、いかに顧客を説得するかという目的で広まった活動でした。

そのため、聞き手の立場に立ちながら要望を認識し、聞き手が知りたい情報を伝えて具体的な行動を促すことが必要です。自分が伝えたいことを主張するだけでは、本来のプレゼンテーションの意味合いとは異なってくるのです。

前半は、「伝えるプレゼン技術」として、講義を行いました。内容は、プレゼン技術について大きく3つに分けて説明をしました。

1つ目は「分かりやすいシナリオ」です。シナリオで大事なことは、分かりやすいこと・テーマを絞ること・中身を最低限3つは提示することです。テーマにメッセージを加え、聴衆の興味がある内容なら自然と聞き手も聞く姿勢になります。内容に根拠と事実を加え、筋道を立てた組み立てが重要です。2つ目は「見せるスライド」です。様々なフォント（書体）の中から、見やすいフォントを選択し、文字の大き

さ（ポイント）も大きくするだけでも、見栄えとアクセントが全く異なります。短文・単語化を意識し、1スライド5行までとすることでとも見やすいスライドになります。効果的に表やグラフを活用し、色でメリハリをつけ、見やすい背景を整えればスライドの完成です。3つ目は「伝えるトーク」です。

素晴らしいスライドが完成して、プレゼンテーションを行っても相手に伝わらなければ意味がありません。聞き手に伝わる話し方が必要となります。聞き手を全体的に見渡して、目線を送りながら反応を確認します。言葉だけでなく身振り手振りを使い、自信を持った表情で話します。伝えたいことのフレーズの前に一呼吸置くことで、より強調することにつながります。原稿を読むだけでは、「伝えたい」から「早くこの発表を終わらせたい」に目的が変わってしまいます。感情豊かに自分の伝えたい思いを伝えることが大事です。

昼食をはきんで、午後からはグループワークです。1グループ4名でグループを作り、今自分たちが伝えたいことの内容をまとめ、スライド資料を作成し、発表まで行うという内容です。

午前中んだことを確認しながら、チームで役割分担を行い、和気あいあいと作業は進んでいきました。わからない内容はグループごとで確認し、講師へ質問するなどとても積極的に取り組んでいました。プレゼンテーションは10分以内で行うとしましたが、スライドや表、写真を効果的に使用し、見やすいスライドを作成していました。発表では少し緊張しているようにも見えましたが、堂々と発表していました。

今回改めて、プレゼンテーションについて考える機会になりました。自分自身も様々な場面でスライド資料を作成し、発表を行ってきました。自分では相手に「伝わっている」という思いで行っていましたが、すべてではないのですが「伝わっていない」部分もあったのではないかと改めて思いました。

今後様々な研修や発表会の場だけでなく、会議で自分の意見をみんなに伝えることも1つのプレゼンテーションではないかと考えます。この研修を受けた方が、様々な場面でよりよいプレゼンテーションを行う手助けになれば幸いです。



TUK 東洋羽毛九州販売株式会社 鹿児島営業所
〒890-0063 鹿児島県鹿児島市鴨池1-64-25ウイング鴨池1-B ☎ 0120-881-125



生活に潤いと豊かさを求める世界の人々に

- 取扱商品 ●アコヤ真珠 ●ベビーパール ●黒真珠 ●南洋真珠（白・ゴールド）



イッシン iS パール（同）

〒862-0920

熊本市東区月出8丁目3-52

☎0120-32-2020

営業時間 9:00~17:00 定休日 日・祝日

ip erna by イッシン

彩筆
COLUMN

畑中 勇二=文

論理的には正しくても、賛成してもらえなかったり同意を得られなかったりすることも有る。そこには専門性や職業倫理や組織文化によつての解釈の枠組みがあるからだ。お互いにそれぞれの枠組みから自分の正当性を主張することは、自分の枠組みからは相手の主張こそが問題に見えるからだ。そして相手がなぜそのような「馬鹿げた主張」をするのだと訝ってしまう。見ている景色が違うままでは何も変わらない。対岸から見るだけをやめて、橋をかけ、対岸から自分を見てみよう。私とは私自身だけではなく、私の環境も含まれているのだということに気づかされる。



令和6年度看護連盟会員を募集しております。



正会員 看護職の方

日本看護連盟会費	5,000円
鹿児島県看護連盟会費	3,000円
合計 年間	8,000円



賛助会員

賛助会員年会費 1,000円

鹿児島県看護連盟の活動に賛同いただける方はどなたでも加入いただけます。



学生会員 年会費無料

看護師、保健師、助産師又は准看護師の資格を得るために学ぶ学生で、看護連盟の主旨に賛同していただける方

申し込み方法

入会手続きや申込み書類のご請求は、事務局へ電話・FAX・メールにてお問い合わせください。

会員情報変更

住所や所属施設など会員情報に変更がある方につきましても下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

鹿児島県看護連盟事務所

〒892-0816 鹿児島市山下町9番31号 電話 (099) 219-5334
 第一ポクエイビル203 FAX (099) 219-5336
 Eメール：office.kagoshima@kango-renmei.gr.jp

編集後記

EDITER'S NOTE

明けましておめでとうございます。

本号は新年号としての企画として看護の代表として活躍されている議員の先生に挨拶を頂きました。コロナも5類感染となり様々な研修も開催できるようになり、研修の様子が記事となっています。今後も様々な研修企画があると思いますので是非ご参加ください。

今年も皆様にご一読頂けるよう努力していきたいと思っております。宜しくお願いします。

広報委員：有木・森田・畑中